

# 【湯田ダム】ダム下流住民と水害に関する勉強会を行いました

平成28年10月14日（金）ダム下流の北上市和賀地区の地域住民で構成する和賀地区自主防災組織連絡協議会と水害に関する勉強会を行いました。

この勉強会は、湯田ダム完成から52年が経過し、下流地域住民の防災意識の低下が懸念される状況において、近年のゲリラ豪雨などによるダムの計画規模を超える洪水の際は、ダムに入ってくるものと同じ流量を下流に流す可能性があるということ、地域の皆さんに理解していただき、有事の際の適切な対応を促す目的で実施したものです。

勉強会には、和賀地区の住民25名が参加し、当事務所から「湯田ダムの役割と出水時の対応」、「台風10号における田瀬ダム（花巻市）の対応事例」等を説明後、活発な意見交換や質疑応答がありました。



## 「湯田ダムの役割と出水時の対応」

- ・ダムのしくみと操作
- ・計画規模を越える洪水への対応



## 「ダムに関する情報提供」

- ・田瀬ダム洪水調節効果
- ・花巻市東和町の防災（避難）訓練の事例紹介



## 勉強会終了後

### 「質疑応答」

- ・ダムの構造の違いは？
- ・ダムの耐用年数は？
- ・ダムが決壊することはあるか？

湯田ダムでは、今後もダム下流地域住民との勉強会を実施してきます。